



学生生活 Campus SEIJO

新入生歓迎特集号

No.210



CONTENTS

学長挨拶	2~3		
学部長からのメッセージ	4~7	文化部連合	15~17
フレッシュマンガイダンス	8~10	バリエーション豊富な文連です。	
2006年度 クラス担任・学生委員等一覧表	11	体育部連合会	18~20
成城大学学友会へようこそ	12	スポーツしようよ!	
学友会組織図	13	黎明 (めーあ・りひと)	21
部員を募集して活動する学友会の団体	14	Campus SEIJO Information	22~24
		編集後記	24



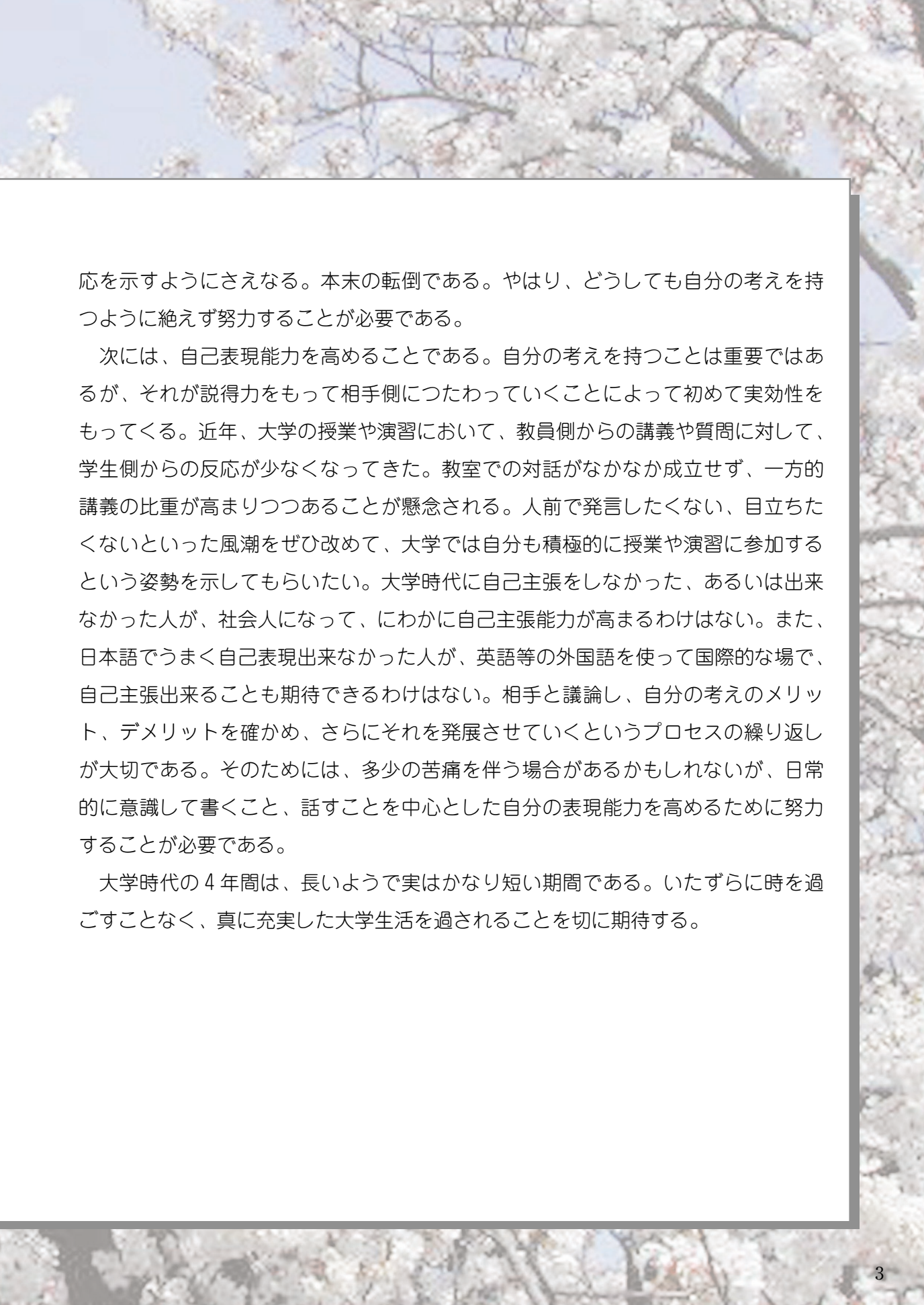
思考形成と自己表現

学長 我妻 建治

四月は、大学正門前のいちよう並木の緑や、第一グラウンド脇の桜並木がもっとも美しい季節である。本学の伝統と学風を継承する若い諸君の入学を心から歓迎したい。

大学時代は、時間に拘束されることなく、また明日のことを思い煩うことなく自由な生活が過ごせる、人生における貴重な時期である。この貴重な大学時代をスタートするにあたって、ぜひ考えてもらいたいことがいくつかある。

一つは、自分の考えを持つことである。国内関係、国際関係を問わずコミュニケーションの手段が発達かつ多様化し、その総量が急増している現代において、周囲の出来事と自分との関係を客観的に把握することは、学問の基礎にもつながる重要なステップである。感情や印象を主張することは比較的容易であるが、自分の感情を交えずに自分と周囲の社会との関係を整理することが肝要となる。様々な情報を把握し、その分析を通じて、あるいは自分の関心を持つ分野を大切に広く深く、そしてゆっくりと知的姿勢を続けることによって、自分の考えがかたまっていくように思われる。自分の考えを持ち、それを他人に理解してもらうためには、どうしても時間とエネルギーがかかる。これはやむをえない。ところがこのエネルギーを節約して、各人の思考形成を手軽にすませようとする傾向が強まっている。解説、解釈、マニュアルの類である。本文を読むまでもなく解説が先行し、美術館に行けば解説パンフレットと首引きになり、ガイドブックに基づいて旅行が組み立てられる。ほとんどあらゆる事柄について解説書が氾濫する。解説書は自分の思考形成において確かに必要ではある。しかしそれらを鵜呑みにすると、解説者の見方や考え方だけで、物事を見たり判断したりすることになる。考えているつもりで、実際には思考停止や思考誘導が行われている。さらにすすむと解説者の見解を自分の考えと錯覚し、それ以外の考え方に拒否反



応を示すようにさえなる。本末の転倒である。やはり、どうしても自分の考えを持つように絶えず努力することが必要である。

次には、自己表現能力を高めることである。自分の考えを持つことは重要ではあるが、それが説得力をもって相手側につたわっていくことによって初めて実効性をもってくる。近年、大学の授業や演習において、教員側からの講義や質問に対して、学生側からの反応が少なくなってきた。教室での対話がなかなか成立せず、一方的講義の比重が高まりつつあることが懸念される。人前で発言したくない、目立ちたくないといった風潮をぜひ改めて、大学では自分も積極的に授業や演習に参加するという姿勢を示してもらいたい。大学時代に自己主張をしなかった、あるいは出来なかった人が、社会人になって、にわかに関心が高まるわけではない。また、日本語でうまく自己表現出来なかった人が、英語等の外国語を使って国際的な場で、自己主張出来ることも期待できるわけではない。相手と議論し、自分の考えのメリット、デメリットを確かめ、さらにそれを発展させていくというプロセスの繰り返しが大切である。そのためには、多少の苦痛を伴う場合があるかもしれないが、日常的に意識して書くこと、話すことを中心とした自分の表現能力を高めるために努力することが必要である。

大学時代の4年間は、長いようで実はかなり短い期間である。いたずらに時を過ごすことなく、真に充実した大学生活を過ごされることを切に期待する。

学部長からのメッセージ



自らの価値を高めて

経済学部長 明石 茂生

経済学部新入生の皆さん、入学おめでとう。皆さんはこれから経済学部という経済・経営に関わる高等教育を提供するセクションで4年間過ごすことになります。経済学部を含めて大学は、専門教育の機関であるとともに、その4年間は社会人となるための心の準備期間でもあります。将来どのように生きていくのかを選択する際に、経済学部以身を置いたという経験はなんらかの形で生きて、けっして無駄ではなかったという感慨をもたれるものと信じています。

皆さんはおそらく、経済とは何かという素朴な疑問を抱きながら学部に入ってきていることでしょう。いくつかの回答があるとは思いますが、私は単純に、経済とはもの一般の生産、流通、消費のありかたを表したものと理解しています。世界にはいたるところ、売りと買いの場（市場）があって、さまざまな人々が介在し、ネットワークが張られています。そのネットワークが地球規模になって巨大なものになりますと、互いに直接接触することのない人々が市場を通して影響を与え合うことになります。敵対的買収や偽計などに関わる事件が、投資家の思惑を駆り立てて証券市場に多大なショックを与えたことはつい最近のことでした。地球規模に取引が拡大するだけでなく、将来のありかたを巡って人々が期待を膨らませて市場に影響をあたえるわけです。人々が空間的にも時間的にもお互いに関係しあっていることが、経済学部で学んでいくなかで自然にわかってくるかと思います。

皆さんが大学を出て、社会人として活躍する今世紀前半、日本経済は劇的な変化を被らざるをえないといわれています。もうすでに、日本は絶対的に人口が減少するという人口減少経済の中に入りはじめました。社会を担う生産年齢人口も減少する一方で、高齢化社会が着実に進み、財政赤字、年金負担など中心的な世代の負担がさらに重くなると予想されるのです。他方で、世界の人口は65億を超え、さらに増えようとしています。食糧、資源の調達に制約がかかり、地球温暖化を含めた環境の悪化を進行させるはずです。残念ながら、市場はこのような問題に有効な解決の手段を提供するわけではありません。万能ではないのです。

皆さんが活躍する時代は、このような問題が山積する困難の時代になりそうです。しかしながら、この時代は過去にとらわれず、知恵と勇気をもって難題に対処する時代でもあります。人材こそ大事であり、実際企業は将来をみて、人材の確保に当たろうとしています。経済学部で学ぶ事柄は、何が選択可能かを見極め、その中で何を選び、そのために人をどのように動かすかです。まさしく、来る時代に生きるための処方箋を提供するはずです。経済学部で学んで、是非、時代を担う有能な人材へと自らの価値を高められんことを願っています。

入学者の変容を願う

文芸学部長 戸部 順一



恒例の挨拶：ご入学おめでとう。文芸学部は皆さんを心から歓迎いたします。これからの4年間、勉学によく励み、(少々気が早いのですが) 自己を確立した大人となって本学部を卒業されることを希望しております。

大学生活スタート時の感情：大学生活の出発点に立った皆さんは、今どんな気持ちでいられることでしょう。満足、期待、不安、安堵、緊張、怖気、心配……。さまざまな感情が交互に現れては消え、自分が自分ではないような、そんな浮遊感の真っ只中にいるのではないかと推察します。もうはっきりとは覚えていませんが、わたしが大学に入学したときにも、そのような、それこそ言葉をいくら並べても表現しきれないさまざまな感情が頭の中を駆け巡っていたのをかすかに記憶しているからです。ちょうどいくつもの色を塗っていくと最後には黒になってしまうように、次第に暗澹とした気分になることもあるでしょうが(これはわたしの場合でした)、いろいろな色の光を重ねていけば白色になるように、いくつもの感情の重なりによって明るい気分で心が満たされることもあるわけで、皆さんは後者の心持になってこれからのキャンパスライフを送られるように祈っております。

授業：わたしは文芸学部で「西洋古典学特殊講義」という授業を担当しています。これは古典ギリシア・ラテン文学を考察の素材にして、人間の文化的営為の一端を理解しようというものです。昨年はギリシア・ローマの叙事詩(長短短というリズムを6回繰り返して1行が完成する詩のことです)を採り上げました。ホメロス、ヘシオドス、ウェルギリウス、オウィディウス。高等学校で習った世界史の教科書に登場する有名な詩人たちなので、皆さんもその名前は覚えているでしょう。昨年の授業の最後に読んだのは、ローマの詩人オウィディウスの『変身物語』。人間が人間でないものに変容する(その逆のケースもいくつかあります)というパターンを持った古代オリエントやギリシア・ローマの神話を集め、それを叙事詩のリズムに乗せて歌った長大な詩です。わりとよく知られた神話の集大成として読める、皆さんにとっても親しみやすい古典作品だと思います。

再び感情：この物語群のなかで、人間を人間以外のものに変容させる力として語られているのはさまざまな感情です。嫉妬、恋情、憎悪、対抗意識、悲嘆……。これらの感情が度を越したとき、物語の主人公は動物にあるいは植物にあるいは石に変容する、とオウィディウスは語っています。荒唐無稽に思われる物語ですが、しかし、強い感情が人間の外見を、あるいはその本質を変えることはあると思います(わたしの白髪は年齢のせいばかりではありません)。先ほど触れましたように、大学生活のスタートラインに立つ皆さんには、さまざまな感情が押し寄せているはずで、それが重なって大学生活への期待感になることを願ってやみません。そしてその期待感が皆さんを真に大学生に値する人間へと変容させる力となることを願ってやみません。知識を活かし、自分で考え、積極的に発言する、そんな人間になることを希望します。卒業を目前にしている学生諸君の提出した学期末レポートからは、その変容ぶりがよく読み取れました。どうか皆さんたちもそうなってください。わたしたちはそのためにあらゆる努力を惜しまないつもりです。最後にいま一度、ご入学おめでとう。

学部長からのメッセージ



新しい『仲間』を迎えて

法学部長 今野 裕之

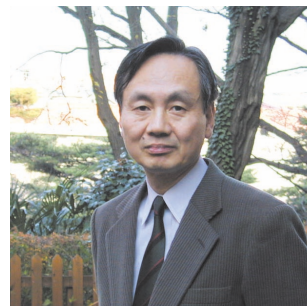
新入生のみなさん、入学おめでとうございます。みなさんも今日から晴れて成城大学法学部の一員、『仲間』となった訳です。みなさんを『仲間』と申し上げたのは、単に教育サービスの受け手という意味ではありません。このことは、大学の成り立ちを考えれば、すぐに理解できることでしょう。大学を表すユニバーシティという言葉は、教授と学生の組合を意味するUniversitas Magistrorum et Scholarumから発生したものであり、カレッジというのは、寄宿舍で自治的集団生活をするという意味のCollegeから出たものです。つまり、大学とは教授と学生を構成員とする学問追求の場なのであり、みなさんとわたしたちは学問をする『仲間』ということになります。教授と学生が集い、教授と教授、教授と学生、学生と学生が学問を通じてぶつかり合う場、それが大学です。

こうしたぶつかり合いの場としての大学は、単に知識や情報を増やすことを目的とする訳ではありませんし、技能を修得することを目的とする訳でもないことは明らかでしょう。大学では、むしろ既存の知識を始めあらゆること（教授の言うこともですよ）をまずは疑うことが出発点となります。そして、自ら考え、意見を述べるなり結論を出すことが求められます。みなさんは、批判的精神に満ちた一つの独立した人格として大学に存在するのです。したがって、大学においては、高校までのように先生の指示をまって勉強するということはもうありません。自ら主体的、自発的、能動的に行動することが必要となります。大学は、みなさんの勉学のためのメニューをカリキュラムとして用意していますが、それは決して出来上がった料理を給食の形でみなさんの口まで運んでくれるようなものではなく、いわば食材の形でみなさんに提供されているものです。どのような食材を選びどう調理して食べるかは、すべてみなさん自身が決めなければなりません。教授は、学問の先輩として、とりあえずどこにどのような食材があるか、どのような調理方法があるかを教えますが、究極的には共に考える『仲間』であり、議論の好敵手なのです。

このような本来の大学の姿を授業のうえで実現しているものとして、ゼミナール（演習）があります。ゼミナールにおいては、学生の報告に対する学生同士の質疑応答や討論を中心に授業が進められ、その際、教授の役目は、議論の進行役を務めることおよび報告者や質問者の知識の不足を補うことにありますが、やがて教授自身も議論に参加していきます。専門的な高度の知識と思考力を身につけた教授との知的バトルこそがゼミナールの醍醐味といえましょう。初めは連戦連敗かもしれません。でも、乏しい知識でもそれを柔軟に駆使して議論していきましょう。足りない知識は教授が補ってくれるでしょう。それを踏まえてまた議論して下さい。数年後、みなさんは、教授を相手に堂々と論陣を張る自分に気がつくことでしょう。『仲間』であるわたしたちは皆、その日を楽しみに待っています。

次なるイノベーションに向けて

社会イノベーション学部長 村本 孜



社会イノベーション学部の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。社会イノベーション学部は昨年4月にスタートした新しい学部です。皆さんは2期生で、昨年入学された1期生の皆さんと一緒に新学部の文化あるいは流れを作る役割を担っておられます。その文化あるいは流れは50年を超える歴史をもつ成城大学にあらたな息吹と活力を吹き込むものと期待されています。

既に、ホームページや学部案内で見られると思いますが、社会イノベーション学部は、日本で初めての学部です。最近、ビジネススクールやMOT（技術経営）の大学院が出来て、イノベーションを研究科名に付けた大学院が出来てきましたが、学部ではまだありません。

日本が、世界のフロントランナーに躍り出て20年余。それまでのキャッチアップ型の経済システムは、大成功したといえます。日本型経営という終身雇用、年功賃金、企業内組合という仕組みも成功を支えました。しかし、この日本型経営が機能不全になって久しいことに明らかのように、キャッチアップ型経済システムの部品は、フロントランナー型経済システムには合わなくなっているのです。金融機関の不良債権問題などはその顕著な現れといってもよいでしょう。

そこで、日本を支えた種々の構造やその文化的側面、そしてその担い手である個人個人の物の見方・考え方をイノベートしていくことが求められているのです。この新しい取組みを学問の対象として捉えるのが社会イノベーション学部のコンセプトですが、学部教育そのものもイノベートしようというのが、新学部の狙いです。無論、大学ですから一定のルールはありますが、最低3つの言語をマスターして欲しいという願いがあります。1つは、国際共通語としての使える英語、2つめに社会的ツールである情報技術（IT）、3つめに日本語（読み書きに加えて情報発信のプレゼンテーション能力としての日本語）です。その3つ言語の上に専門知識をがっちり構築して欲しいのです。

皆さんは、これまでどちらかといえば受け身の学習であったと思います。これからは、自分で積極的に取り組み、身に着けることができる学習となります。それを可能にするカリキュラムを用意しました。是非、積極的に関わって欲しいと思います。

社会をイノベートするにはまず自分をイノベートすることが必要になります。これまでの発想を変えて下さい。そして、一歩踏み出して下さい。先生の研究室を訪ねて下さい。オフィスアワーを活用すれば、アポなしで先生と話ができます。

新しい成城大学の文化を一緒に創っていきましょう。



フレッシュマン・ガイダンス

新入生の皆さんが開講後、授業や課外活動において充実したキャンパスライフを送れるよう、入学式～4月10日の間以下のガイダンス等を集中的に行います。自分の予定を確認し、必ず参加して下さい。

経済学部					
A～F組：経済学科		G～L組：経営学科			
月日(曜)	ガイダンス等の名称	組等	時間	場所	持参するもの
4月5日(水)	入学式	全体	10:00～	五十周年記念講堂	
	クラスガイダンス ガイダンス終了後、解散		11:30頃～		
4月6日(木)	学部ガイダンス	A～F組	10:00 集合	7号館 007 教室	履・シ・時・筆
	新入生オリエンテーション		13:30～14:30		
	教務部・国際交流室ガイダンス			7号館・8号館	
	MNCガイダンス				
	学部ガイダンス	G～L組	9:00 集合	8号館 008 教室	履・シ・時・筆
	新入生オリエンテーション		12:00～13:00		
	教務部・国際交流室ガイダンス			7号館・8号館	
	MNCガイダンス				
学生主催オリエンテーション	全体	15:00～17:00	2号館 002 教室		
4月7日(金)	図書館ガイダンス	A B C組	9:00～10:00	図書館	
		D E F組	10:00～11:00		
		G H I組	12:00～13:00		
		J K L組	13:00～14:00		
4月8日(土)	【経済学部全員】 休み				
4月10日(月)	学生部ガイダンス	A～F組	9:00 集合	7号館 007 教室	パ・筆
	相談コーナー		12:00～13:30	731, 732 教室	
	新入生歓迎パーティー			7号館学生ラウンジ	
	学生部ガイダンス	G～L組	13:30 集合	7号館 007 教室	パ・筆
	相談コーナー		16:30～18:00	731, 732 教室	
新入生歓迎パーティー		7号館学生ラウンジ			
4月11日(火)	開講日 (1時限目の授業は9:00開始)				
4月17日(月)	文化部連合・体育部連合会主催 オリエンテーション	全体	16:30～	五十周年記念講堂	

文芸学部						
A組：国文学科		B組：英文学科	C組：芸術学科	D組：文化史学科	E組：コミュニケーション学科	F組：ヨーロッパ文化学科
月日(曜)	ガイダンス等の名称	組等	時間	場所	持参するもの	
4月5日(水)	入学式	全体	14:00～	五十周年記念講堂		
	クラスガイダンス ガイダンス終了後、解散		15:30頃～			
4月6日(木)	フレッシュマン・キャンプ (教務部ガイダンス ・国際交流室ガイダンスを含む)	A B D組	大学正門 8:30に集合	河口湖富士ビューホテル	履・シ・時・パ・筆	
	図書館ガイダンス	C組	9:00～10:00	図書館		
	MNCガイダンス	C E組	10:30～11:30	821・822・823教室		
	図書館ガイダンス	E組	12:00～13:00	図書館		
	MNCガイダンス	F組	14:30～15:30	821・822教室		
	図書館ガイダンス	F組	16:00～17:00	図書館		
	4月7日(金)	フレッシュマン・キャンプ (教務部ガイダンス ・国際交流室ガイダンスを含む)	C E F組	大学正門 8:30に集合		河口湖富士ビューホテル
フレッシュマン・キャンプより帰着	A B D組	16:30 (予定)				
4月8日(土)	MNCガイダンス	A B組	10:00～11:00	821・822・823教室		
		D組	11:00～12:00	822・823教室		
	フレッシュマン・キャンプより帰着	C E F組	16:30 (予定)			
4月10日(月)	図書館ガイダンス	A組	10:30～11:30	図書館		
		B組	11:30～12:30			
		D組	12:30～13:30			
		全体	14:00～16:00			2号館 002 教室
4月11日(火)	開講日 (1時限目の授業は9:00開始)					
4月17日(月)	文化部連合・体育部連合会主催 オリエンテーション	全体	16:30～	五十周年記念講堂		

履：『履修の手引』 シ：『シラバス』 時：『授業時間割表』
 パ：『パンフレット成城』 筆：筆記用具

法学部					
月日(曜)	ガイダンス等の名称	組等	時間	場所	持参するもの
4月5日(水)	入学式	全体	10:00~	五十周年記念講堂	
	クラスガイダンス ガイダンス終了後、解散		11:30頃~		
4月6日(木)	法学部ガイダンス	全体	12:00 集合	特別2号棟 特03教室	履・シ・時・筆
	新入生オリエンテーション		15:30~16:30		
	教務部・国際交流室ガイダンス MNCガイダンス				
4月7日(金)	図書館ガイダンス	A B組	14:00~15:00	図書館	
	E. F. G. H組は休み	C D組	15:00~16:00		
4月8日(土)	図書館ガイダンス	E F組	11:00~12:00	図書館	
		G H組	12:00~13:00		
	学生部ガイダンス 学生主催オリエンテーション	全体	14:00~15:00 15:30~17:30	7号館 007 教室 2号館 002 教室	パ・筆
4月10日(月)	【法学部全員】 休み				
4月11日(火)	開講日 (1時限目の授業は9:00開始)				
4月17日(月)	文化部連合・体育部連合会主催 オリエンテーション	全体	16:30~	五十周年記念講堂	

社会イノベーション学部					
		A~E組：政策イノベーション学科		F~J組：心理社会学科	
月日(曜)	ガイダンス等の名称	組等	時間	場所	持参するもの
4月5日(水)	入学式	全体	14:00~	五十周年記念講堂	
	クラスガイダンス ガイダンス終了後、解散		15:30頃~		
4月6日(木)	【社会イノベーション学部全員】 休み				
4月7日(金)	学部ガイダンス	全体	9:30 集合	7号館 007 教室	履・シ・時・筆
	新入生オリエンテーション		12:15~		
	教務部・国際交流室ガイダンス 新入生歓迎パーティー				
	MNCガイダンス	A~E組	14:00~15:00	8号館	
	相談コーナー	F~J組			
	MNCガイダンス	F~J組	15:00~16:00		
	相談コーナー	A~E組			
学生主催オリエンテーション	全体	16:00~18:00	2号館 002 教室		
4月8日(土)	図書館ガイダンス	A B組	9:00~10:00	図書館	
		C D E組	10:00~11:00		
	学生部ガイダンス	全体	11:30~12:30	7号館 007 教室	パ・筆
	図書館ガイダンス	F G H組	14:00~15:00	図書館	
	I J組	15:00~16:00			
4月10日(月)	【社会イノベーション学部全員】 休み				
4月11日(火)	開講日 (1時限目の授業は9:00開始)				
4月17日(月)	文化部連合・体育部連合会主催 オリエンテーション	全体	16:30~	五十周年記念講堂	

文体連オリエンテーション 日時…4月17日(月) 16:30~
 (本誌14~20頁参照) 場所…五十周年記念講堂

学生主催オリエンテーションとは、 校友会の各学部執行部会が主催し、新入生の皆さんに各学部の学生生活を案内するものです。
 (本誌14頁参照)



フレッシュマン・ガイダンス

履：『履修の手引』 シ：『シラバス』 時：『授業時間割表』
パ：『パンフレット成城』 筆：筆記用具

短期大学部 専攻科

月日(曜)	ガイダンス等の名称	時間	場所	備考：持参物
4月5日(水)	入学式	16:00～	8号館 008 教室	
	クラスガイダンス ガイダンス終了後、解散	17:00頃～	8号館 008 教室	
4月6日(木)	MNCガイダンス	14:30～15:30	8号館 823教室	
4月7日(金)	フレッシュマン・キャンプ		箱根富士屋ホテル	履・時・パ・筆
		14:00～15:30	図書館	
4月8日(土)	フレッシュマン・キャンプ (現地解散)			
4月10日(月)	【短期大学部専攻科全員】 休み			
4月11日(火)	開講日 (1時限目の授業は9:00開始)			
4月17日(月)	文化部連合・体育部連合会主催 オリエンテーション	16:30～	五十周年記念講堂	

大学院 経済学研究科・文学研究科・法学研究科

月日(曜)	ガイダンス等の名称	時間	場所	備考：持参物
4月5日(水)	入学式	10:00～	五十周年記念講堂	
	教務部・学生部ガイダンス (全員) (履修の手引・シラバス、授業時間割表、 学生証等配付)	入学式 終了直後	法人事務局棟 3階大会議室	
	MNCガイダンス	14:00～15:00	8号館 821 教室	
	研究科ガイダンス	経済学研究科 文学研究科 法学研究科	15:30～16:30	特別3号棟1階会議室 法人事務局棟 3階大会議室 5号館53A教室
4月11日(火)	図書館ガイダンス (全員)	16:30～17:30	図書館	
	開講日 (1時限目の授業は9:00開始)			

前期授業開始 4月11日(火)

開講から履修登録を済ませるまでは、履修を希望する授業に自由に出席することができます。
ただし、必修科目の授業については第1回目から出席してください。

新入生の保護者の皆様へ (学生の安全のために)

電話呼び出し・照会について

保護者・友人から電話による学生呼び出しを依頼される場合があります。本学では学生の安全のために、電話の取り次ぎや学内放送での呼び出しは行いません。

また、学外から学生の住所・電話番号等、個人情報に関する問い合わせにもプライバシー保護のため一切応じていません。あらかじめご承知おきください。

振り込め詐欺などの対応について

電話による「架空誘拐」等、銀行口座へ現金を振り込ませる「振り込め詐欺」が多発しており、本学でも多くの問い合わせを受けております。

相談は、学生部で受け付けますが、各ご家庭においても落ち着いた対応をお願いするとともに、自宅・自宅外の居住にかかわらず、緊急時の連絡の取り方を確認しておいてください。

自宅外に下宿する場合

お様が自宅外に下宿する場合は、日頃から連絡を取りやすい環境を作り、生活状況をよく把握していただきたいと思います。

2006年度 クラス担任・学生委員等一覧表

本学では、クラスごとの担任、学生委員など、教員と学生とのふれ合いを第一の目的とした学生担当制度があります。どのようなことでもクラス担任・学生委員等に気軽に相談してください。

また、2年次以降も、ゼミナール・基礎演習・専門演習などの担当教員から指導・助言を受けることができます。

経済学部		
学年	組	担任
1	A	木下 直也 教授
	B	山重 芳子 助教授
	C	中條屋 進 教授
	D	大津 武 助教授
	E	中村 理香 助教授
	F	花井 清人 教授
	G	田中 誠一 教授
	H	岩本 修巳 教授
	I	牧野 陽子 教授
	J	上田 晋一 助教授
	K	渡邊 由陽 教授
	L	相原 章 助教授
2		
3	全	ゼミナール担当者（※）
4		

※ゼミナールを履修していない学生は、学科主任。
経済学科 杉本 義行 教授
経営学科 岩崎 尚人 教授

文芸学部		
学年	組	担任
1	A	小島 孝之 教授
	B	松田美作子 助教授
	C	千足 伸行 教授
	D	上杉 富之 教授
	E	南 保輔 教授
	F	木畑 和子 教授
2	A	池田 一彦 教授
	B	松川 祐子 助教授
	C	石鍋 真澄 教授
	D	松崎 憲三 教授
	E	森 暢平 専任講師
	F	林田 伸一 教授
3	A	宮崎 修多 教授
	B	鶴見 良次 教授
	C	相澤 正彦 教授
	D	小島 孝夫 助教授
	E	川上 善郎 教授
	F	一之瀬正興 教授
4	A	枋尾 武 教授
	B	青木 健 教授
	C	木村 建哉 専任講師
	D	篠川 賢 教授
	E	古田 尚輝 教授
	F	有田 英也 教授

法学部		
学年	組	担任
1	学生委員	太田 晋 助教授
		永井 典克 助教授
		原田 剛 教授
		平野 篤司 教授
2	全	基礎演習担当者
3		※専門演習担当者（専門演習を履修していない学生は、井上 明良 教授・辻 陽一 教授）。
4		

社会イノベーション学部		
学年	組	担任
1	学生委員	手塚 公登 教授
		村田 裕志 教授
		平井 正子 教授
		大家 亮子 教授
		斎藤 忠志 教授
2	全	基礎ゼミナール担当者

短期大学部		
学年	組	担任
専攻科		早川 基 助教授

■ 社会イノベーション学部のオフィスアワーについて

社会イノベーション学部では、教員が週のある曜日・時間を決めて研究室に在室し、学生はその時間帯に自由に教員を訪ね、質問・相談できるオフィスアワー制度を設けています。各教員のオフィスアワーは、『パンフレット成城』71頁とホームページに掲載しています。

なお、オフィスアワー以外の時間帯でも質問・相談はできます。その場合は、あらかじめ予約をとっておいた方がよいでしょう。

☆成城大学学友会へようこそ☆



学友会の組織を
簡単に説明すると
↓こんな感じだね。

新入生の皆さん、
ご入学おめでとうございます！

さて、「成城大学学友会へようこそ」と、
突然言われても、「学友会って何？」という感じですよ。
まず、「学友会」を構成する「学友会員」とは誰か？
というと、成城大学に在籍しているすべての学生が、
学友会員となるんですよ。(大学院生は除きます)
ですから、みなさんが成城大学に入学したその瞬間から、
学友会員になっているというわけです。
それでは、学友会とは何かということを一言でいうと、
「**学生の学生による学生ののための組織**」ということになります。

右のページにあるのが、現在の学友会の組織図です。
学友会費は、学費と一緒に毎年徴収されていて、
その中から、各部活・団体の活動費や、
オリエンテーション、その他学生主催の行事などにお金が
使われているのです。

部活するのもよし、行事に参加するのもよし、
とにかく、大学生活を、
楽しみましょう♪

☆全学総会☆ 成城大学の学生にかかわる様々なことをまとめて報告したり、決議する〈最高議決機関〉のことです。中学とか高校でやった生徒総会に近いと思います。毎年6月に五十周年記念講堂で開催し、各部活の決算報告・予算報告、学友会諸問題についての決議が主な内容。全学生の4分の1以上の出席が委任状の提出がないと成立しません。

☆総務会☆ 学友会各機関の統轄、全学総会の開催、学友会費の資産管理の責務を負って中心となって活動しているのが総務会です。総務会は、経済学部部会・法学部部会・文芸学部部会・社会イノベーション学部部会・文化部連合・体育部連合会の各代表（総務または委員長）・各副代表（副総務または副委員長）から構成されており、毎週（長期休暇中も月に2回）開かれています。日常で生じる成城大学・学生の問題を話し合いで解決に努めています。

☆会計監査委員会☆ 学友会の資金がきちんと運営されているかチェックする委員会。決算時期には大変お世話になります。

☆会計委員会☆ 実際に学友会のお金を管理している委員会。各団体との予算折衝や決算の事務を担当しています。

☆執行部☆ 執行部は、経済学部なら経済学の学生のための、文芸学部なら文芸学部の学生のための...、というように、難しく言うと、学部ごとの独自の自治組織です。冊子を作ったり、講演会を開いたり、オリエンテーションを運営してるのも執行部です。その学部の学生であれば、誰でも入れる、部員を募集して活動する団体です。総務・副総務は総務会メンバーです。

学友会組織図

全学総会

(学友会最高の議決機関)

学友会会員

会計監査委員会

総務会

会計委員会

専門局

事務局
広報局
印刷局
サークル局
照明局

特別委員会

大学祭実行委員会
卒業アルバム委員会
新入生課外活動参加推進委員会
卒業記念パーティー実行委員会

特別機関

厚生部
放送部
新聞会
応援団

体育部連台会

所属団体：
39

文化部連台

所属団体：
30

社会イノベーション学部部会執行部準備委員会

法学部部会執行委員会

所属研究団体：
2

文芸学部部会執行部

所属研究団体：
6

経済学部部会執行部

所属研究団体：
1

体育部連台会は
18～20P

文化部連台は
15～17P

次のページにつづく

平成18年度総務会メンバー

総務会議長兼文芸学部部会執行部総務	西河 瞬
総務会副議長兼経済学部部会執行部総務	高野 翔一
文芸学部部会執行部 副総務	宇佐美草太
法学部部会執行委員会 総務	嶋崎 宏太
法学部部会執行委員会 副総務	河村 美帆
社会イノベーション学部部会執行部 総務	中嶋 琢
社会イノベーション学部部会執行部 副総務	菅原 真美
文化部連合 総務	石川 恭子
文化部連合 副総務	木内紗耶香
体育部連台会 委員長	白井 卓郎
体育部連台会 副委員長	中原 克嘉

部員を募集して活動する学友会の団体

執行部

経済学部部会執行部
 文芸学部部会執行部
 法学部部会執行委員会
 社会イノベーション学部部会執行部準備委員会

学生主催オリエンテーション日程

《場所・2号館002教室》

経済学部…4月6日(木) 15:00～

文芸学部…4月10日(月) 14:00～

法学部…4月8日(土) 16:00～

社会イノベーション学部

…4月7日(金) 16:00～

★学生による学生のためのイベント★

経済学部部会所属

会計学研究会

文芸学部部会所属

民俗学研究会

音楽研究会

ミステリークラブ

歴史研究会

文学研究会

マスコミ研究会

法学部部会所属

司法試験勉強会

雄弁会

研究団体

連合組織

文化部連合所属団体 …次頁

冊子「C-ZONE」発行

体育部連合会所属団体…20頁

冊子「GET」発行

文体連オリエンテーション日程

日時…4月17日(月) 16:30～

※5時限目休講

場所…五十周年記念講堂

★学内の部活・専門局・特別機関を

一挙で紹介するイベント★

厚生部 アルバイト及び下宿の斡旋等の、学内における厚生事業を行う。

放送部 学内行事などでの各種の放送活動全般と放送研究活動を行う。

新聞会 成城大学新聞の発行を行う。現在休部中。

応援団 各種の体育・文化両方面の応援活動を行う。

*リーダー部

*チアリーダー部「BRUINS」

特別機関



専門局

照明局(SULT)

学内行事などでの照明事業全般を行う。



特別委員会

大学祭実行委員会

11月に開催される大学祭の企画・運営を行う。

※年間を通して活動しています。

卒業アルバム委員会

成城大学卒業アルバム制作・運営を行う。

卒業記念パーティ実行委員会

成城大学卒業記念パーティーの企画・運営を行う。

文化部連合

バリエーション豊かな文連です。

新入生の、皆さん
ご入学おめでとうございます！！
新生活に胸をワクワクさせていることと思います♪
大学生活の中で、
講義のみならず部活動にも興味を抱いている方も多いのではないのでしょうか？
色々な部活動・サークルを見学し、
自分にとって一番、興味をもてる活動や仲間を見つけてみてください。
その中に
文化部連合に所属する30団体も
候補に入れて頂けたら…
と思っています。

狂言研究会
軽音楽部
広告研究会
古美術鑑賞会

アメリカ民謡研究会
E.S.S.
映画研究部
映画シナリオ研究会
演劇部
合唱団
華道部
ギター部



サイクリングクラブ
茶道部
写真部
将棋愛好会
商業英語研究部
書道愛好会
Student Bible

生物部
ダンス部
釣部
天文研究会
美術部



文芸部
ボランティア部
漫画研究会
落語研究会
旅行部
レストロアルモニコ管弦楽団



☆文化部連合とは☆

成城大学学友会員で
構成される団体であって、
文化的活動の促進のために組織された団体の集まりです。

本学では、文化系部活動と体育会系部活動と独立し、
別々の執行機関を持っています。

その**文化系部活動からなる連合組織が文化部連合**であり、
文化部連合本部を執行機関とし、各団体とも課外活動の一翼を担っています。

本学には、公認課外活動団体を部活動とし、
非公認課外活動団体をサークルと位置づけています。
部活動とサークルの違いは、「部室の有無・部費の有無（学友会配当）」の点で異なります。
やはり、部室があるのとないのとでは安定性が違いますし、
部費が全額個人負担であるのとでは、大きな違いです。
決して、サークルを否定する訳ではありませんが、
現在30ある文化部をご覧になって頂ければ、幸いです。

☆文化部連合本部とは☆

私たち文化部連合本部は、文化部の皆さんが活動しやすいよう
にお手伝いをしています。会計・企画・広報・事務の4つの局に
分かれ、お昼と放課後、本部にて仕事をしています。

主な仕事は、教室の使用届などの手続き、
予算について、
年3回の冊子「C-ZONE」の発行などですが、
各団体からの要望・相談も受け付けています。

また、1年の中でも大きなイベントとして、
リーダーズ・サミットがあります。

各部の部長・副部長・会計の方々が集まり、部の運営に必要な
ことを学び、更に他の部の人たちとのディスカッションをする場
です。今年は、各部の理解と親睦を深めるために事前オリエンテ
ーションも行いました。各団体同士、また団体と本部との相互理
解のためにも、とても重要な場です。

皆さんが楽しく活動できるよう、精一杯、努力していきたいと
思います。

○詳しくは、**文体連オリエンテーション**、**C-ZONE**をご覧ください○

☆会計局☆ 会計局では、各団体への予算の決定・配布を行っています。部の発展の為に使われるお金ですので、会計局一同責任をもって仕事に取り組んでいます！！学園生活を充実させるきっかけにもなりますので、気になる部活は部室に遊びに行ってみることをおすすめします。

文化部でみなさんが充実した学生生活を送れるように、また新しいものに出会えるように応援しています。

☆企画局☆ 企画局では主に、4月に文体連オリエンテーション、12月に文連総会の企画・運営を行っております。今年度の文体連オリエンテーションは、4月17日（月）PM4:30～五十周年記念講堂にて開催します。ここでは、文化部連合・体育部連合会に所属する各団体のそれぞれの活動を一度に知ることができる良い機会ですので、友達とお誘い合わせの上、ご来場下さい♪

どの部活に入ろうか迷っていたら是非是非文連に相談しに来て下さい！！

☆広報局☆ 広報局では、文化部連合広報誌C-ZONEの制作を主に行っています。C-ZONEは、新入生に各部活動の活動を紹介し、入部の参考資料として役立てて頂く「新入生歓迎号」、大学祭での各団体の活動や年間活動を紹介し、学内のみならず来校された方にも配布する「大学祭号」、各部活動新三役の方々を対象として諸手続き・前年度活動報告等を紹介する「リーダーズ・サミット号」の年3回の発行が基本です。いずれも各団体から参加している本部員の皆さんが、内容・構成などをゼロから制作しています。また、原稿については各団体において熟慮し、制作して頂いています。

今年度は「文化部連合加盟団体における活動のさらなる活性化」という本来のC-ZONEの役割に加え、「文化部“連合”としての繁栄」をも目指し、団体相互の交流や理解を深める広報活動にしていきたいと考えています。

各団体の皆さんや広報局員みんなでC-ZONEを制作していくことはとても楽しい活動です。文化部の活動や広報局の活動にも興味を持って頂けたなら、4月発行のC-ZONE 新入生歓迎号をちょっぴり覗いてみてください♪

☆事務局☆ 事務局は、各部活が部会を開く時等に必要な教室を貸し出したり、インカムやデジタルビデオカメラ等、備品の貸し出しの受付を行っているところです。業務を通して、部活の活動をバックアップさせていただくことになります。みなさんの活動をより快適なものにするためのお手伝いができたら幸いです。

大学は自分から動いていかなければ、楽しみは得られないところだと思います。恥ずかしがらずに、積極的に行動して下さい。そして、本当に自分のやりたいことをみつけて、それを楽しんで下さい。それができたなら、大学生活は有意義なものになるでしょう。

新入生のみなさんは、わからないことも多く、不安だと思いますが、

早くこの環境になれて、楽しい生活を送って下さい。

(文化部連合本部)

《体育部連合会》

スポーツしようよ!

スポーツするなら体連!

学生生活も残すところ4年間、今しかできないことを、仲間と熱くやろう!



今年のテーマは「じょうしょう せい じょう常勝成城」
第51代成城体育部連合会本部役員の意気込みポーズ。

- 委員長 白井 卓郎 (男子ホッケー部)
- 副委員長 矢澤 麻美 (女子バスケットボール部)
- 副委員長 中原 克嘉 (ライフセービング部)
- 副委員長補佐 田中 勇輝 (男子アイスホッケー部)
- 運営局長 小池 康裕 (男子ゴルフ部)
- 広報局長 井上 禎二郎 (弓道部)
- 財務局長 津田 佳奈美 (女子ホッケー部)
- 事務・渉外局長 塩崎 智美 (女子ゴルフ部)
- 四大戦推進局長 石川 正寛 (漕艇部)

まず、委員長の白井君に、新入生の参考になるように、部活を選んだ理由と、その結果どうなのかということ振り返って教えてもらいたいだけれど…。

俺の場合は、高校までも体育会に入っていたんですけど、グラホ(男子ホッケー部)を選んだのは、人と雰囲気と一番頑張ってる俺のことを勧誘してくれたことですね。新しいスポーツにも挑戦したかったし。

結果ですか?、ものすごく楽しくて、充実していますよ。今しかできないこと、成城でしかできないことをやっているという感じですかね。

昨年は、四大戦(右参照)が当番校だったこともあって、あ、四大戦推進局の副委員長をやっていたんですが、同じ部活のメンバーだけじゃなく、体連本部員、成蹊・武蔵・学習院大学のメンバーとも交流できて、というか、一緒に行事を運営して、人間関係の幅がぐんと広がりましたね。もちろん大変な事も多かったけど、その分、達成感も大きかったと思います。

最下位から脱出して3位になったしね。

いや3位に満足してはいけないと思う。やっぱりやるからには、優勝を目指したい。一つでも多く勝ちたいです。

だからこそ新しい力が欲しいんです。

新入生のみなさん!
体連の部活を見に来て下さい。
そして、入って下さい!

左から

空手道部
硬式野球部
柔道部

サッカー部
男子ラクロス部
女子ゴルフ部



《新入生に伝えたいこと》

全員 文体連オリエンテーションに絶対来て欲しい!

小池 あ、文体連オリエンテーションというのは、入学式を行った五十周年記念堂で、体育部連合会と文化部連合に所属している団体が、次々に出てきて広い舞台の上で自分たちの部活をアピールする最大規模のイベントです。映像あり、スピーチあり、アトラクションありです。

津田 全部がっぺんに見られるし、部活の雰囲気もものすごく出るから、部活を選ぶのに、ものすごく役立つと思う。

塩崎 成城らしさがわかると思う。4月17日(月)16時30分からです。その日は5時限目が休講です。

全員 それから、学生食堂に来て欲しい!

白井 学生食堂で、体連各々がブースを開いているので、気軽に来て欲しいですね。学生生活や履修の相談にもなりますよ。



女子タッチフットボール部 バドミントン部



硬式庭球部 (男子・女子)



男子ホッケー部 アメリカンフットボール部

体連リーダーズ・サミットに出席した部活の幹部に、自分の部のユニフォームを着てもらいました。
(全ての部ではありません)

四大戦とは四大学運動競技大会の通称

旧制7年制高等学校当時より、同じような学風を持つ、学習院大学・成蹊大学・武蔵大学と本学の4大学の体育会が中心となり、スポーツを通じて各校の親善交流を促進することを目的として行っている大会です。競技は、**各校の体育会所属団体が競い合う正式種目**、学内予選を勝ち抜いた一般学生が競う一般種目そして教職員種目の3種類があります。

一般種目 硬式・軟式庭球(男・女・混)、卓球(男・女・混)、サッカー、軟式野球、ソフトボール(男・女)、バスケットボール(男・女)、バドミントン(男・女)、バレーボール(男・女)

教職員種目 硬式庭球、ソフトボール、バレーボール



女子ホッケー部 陸上競技部



合気道部 弓道部



→左から
女子バレーボール部
男子バレーボール部
ラグビー部

弓道場
弓道部



第2グラウンド

アメリカンフットボール部
女子タッチフットボール部
ラグビー部

大学体育館

卓球部
バドミントン部
男子バスケットボール部
女子バスケットボール部
男子バレーボール部
女子バレーボール部

大学テニスコート

硬式庭球部
(男子・女子)



道場

合気道部
空手道部
剣道部
柔道部

伊勢原総合グラウンド

自動車部 (部室)
馬術部

**2号館屋上
(射場)**

洋弓部

見学大歓迎!

自分にあった部活を見つけて下さい!
グラウンドや体育館や道場...
実際に見てくれば、部活の雰囲気
がわかるはず。練習場所や時間は、体連
の冊子「GET」に詳しく載っています。
気軽に声をかけてください!
もちろん僕たちも、声をかけます。
こわがらないでくださいね!

第1グラウンド

硬式野球部
サッカー部
男子ホッケー部
女子ホッケー部
男子ラクロス部
女子ラクロス部
陸上競技部

トレーニングセンター

水泳部 (学園プール)
スキー部 (他)
漕艇部 (戸田ポート場)
ライフセービング部 (片瀬江ノ島)

アイスホッケー部 → → → 神宮スケートリンク
グリーンキャンプ部 → → → 希望による
男子ゴルフ部 → → → → 成城ゴルフ
女子ゴルフ部 → → → → 成城ゴルフ
ヨット部 → → → → → 江ノ島
ワンダーフォーゲル部 → → → → → 砦公園





「自ブン。をプロデュース」

法学部助教授 中村 肇

めーあ・りひと



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。いろいろな想いで、大学生活を始めることだと思います。大学生活を始めるにあたって、何かアドバイスをということなのですが、大学生活も皆さんの人生の一部ですから、今まで通りに過ごすこともできると思います。ただ、大学生の間というのは、成人になったり、長い付き合いの友人と出会ったりと、人生の節目にもなる時期ですから、有意義に過ごした方がいいと思います。

有意義に過ごすといっても、どういう風に過ごすことが有意義なのかを考えると、そんなに簡単に答は見つかりません。では、答えの探し方を少し考えてみたいと思います。

ヒントになるのではないかと、私が思いましたのは、最近ドラマにもなった「野ブタ。をプロデュース」という小説です。ご存じの方も多いでしょうが、簡単に言えば、「野ブタ。」というあだ名のさえない高校生をクラスメートが人気者にプロデュースしていくという話でした。いろいろな問題が起こりますが、さえなかった高校生は、自分らしさを失うことなく人気者になっていきます。ドラマでは同級生というプロデューサーがいて、あれこれアドバイスをしてくれます。時には迷惑なこともあります。とりあえず、その指示に従えば、自分を成長させたり、変えていくきっかけになるというわけです。

けれども、普通、皆さんにプロデューサーはついていません。自分を人気者にしたいなと思っても、指示を出してくれる人はいませんから、自分で考えなければならぬわけです。ここでは、自分で自分をプロデュースする「セルフ・プロデュース」をしなくてはならないのです。「野ブタ。をプロデュース」では、プロデューサー役の同級生も、「野ブタ。」のプロデュースを通じて成長していきます。人をプロデュースするのは、簡単にはいかず、大変なことから成長するわけです。なおさら、自分で自分をプロデュースすることは、簡単ではないでしょう。

さて、大学生活の有意義な過ごし方の参考になるものとして「セルフ・プロデュース」をあげました。「セルフ・プロデュース」は簡単ではない、と書きましたが、いろいろなことが「セルフ・プロデュース」につながります。たとえば、格好いスタイルで街を歩くことも、友人を多く作ることも「セルフ・プロデュース」です。要するに「格好い自分」、「友人の多い自分」を作っていくわけです。そのためには、どういうスタイルが「格好いか」どうすれば「友人が多くなるのか」を考えなくてはなりません。情報収集も必要でしょうし、あれこれ考えることも必要になるでしょう。

このように考えてくると、ある学問の勉強をするというときに必要な作業と日常生活で「セルフ・プロデュース」のために行う作業とが、それほどかけ離れているとも思えません。勉強をする場合でも、情報を収集し、それをもとにあれこれ考えていくという作業が基本になっているからです。

今まで書いてきたことは、実は、皆さんがすでに意識的にであれ、無意識的にであれ、すでに実行していることなのではないでしょうか。ですから、大学に入っても、取りたてて生活の仕方が変わることはないかもしれません。けれども、せっかくだから「セルフ・プロデュース」ということを意識して、いろいろなことに取り組んでみたらと思います。試行錯誤も必要でしょうし、その時間は皆さんに与えられていると思うからです。



各部の主な業務紹介

学生部：学生の生活全般、課外活動、健康管理等のサービスを行う機関

- 学生課：1号館1階 03-3482-9081
- 学生会その他学生の自治活動の助言・指導および育成に関すること
 - 学生の集会、出版物、掲示、行事に関すること
 - 部室・課外活動教室の管理に関すること
 - 学生証、通学証明書、学割証等の発行に関すること
 - 転部・転学科・休学・退学等に関すること
 - 住所変更および身上異動に関すること
 - 欠席に関すること（忌引、病気・けが等による7日以上欠席）
 - 学生教育研究災害傷害保険に関すること
 - 奨学金に関すること
 - 下宿・アルバイトの斡旋に関すること
 - 遺失物・拾得物、盗難被害に関すること
 - 授業料等納付金に関すること
 - 自転車通学に関することおよび自動車通学特別許可に関すること
 - ピラ配布・ポスター掲示等の届出に関すること
 - 成城大学トレーニングセンターに関すること

- 学生相談室：4号館2階 03-3482-9086
- 相談活動（学生生活を送る中で出会うさまざまな問題に関する相談）
 - 心理テスト・性格検査等の実施

- 保健室：特別2号棟1階 03-3482-9085
- 健康管理に関すること（定期健康診断）
 - 健康相談
 - 応急医療処置

学生部よりお知らせ

- 定期健康診断（問い合わせは保健室）
- 日程 4月14日、4月18日～21日
- 午前の部：男子… 9：30～12：30
午後の部：女子… 13：30～16：30
- 場所 五十周年記念講堂
- 内容 胸部レントゲン撮影、検尿、身長・体重測定
- 自転車通学を希望する場合（年度ごとに申請）
- 学生部で登録申請を行い「登録ステッカー」を受取り自転車本体の目立つ位置に貼付。（指定の駐輪場に駐輪）

就職部：就職指導・斡旋に関するサービス機関

- 就職課：特別2号棟1階 03-3482-9063
- 就職指導・斡旋に関すること（相談・各種ガイダンスの実施）
 - 求人に関すること（求人受付・開拓）
 - 学内選考に関すること
 - 就職活動に必要な各証明書の受付
 - 就職資料室に関すること（資料の収集・管理）
 - 卒業年次生の進路登録に関すること
 - インターンシップに関すること

大学事務取扱時間

月～金曜日 8：30～18：00
土曜日 8：30～13：00

*日曜日、国民の祝日、年末年始、夏季一斉休業
期間は業務を行いません。
その他変更がある場合は、掲示・Campus Square for Webでお知らせします。

教務部：学生の教学に関するサービス機関

- 教務課：1号館1階 03-3482-9045
- 授業に関すること
 - 履修登録の受付、履修相談および指導
 - ゼミナール（演習）届、コース申請の受付
 - 履修の手引・シラバス、授業時間割の作成
 - 卒業論文に関すること
 - 休講等の掲示、授業教室使用の管理
 - 学長賞懸賞論文に関すること
 - 聴講生等の取り扱い業務

- 学務課：1号館1階 03-3482-9054
- 学業成績に関すること
 - 教職課程に関すること
 - 学芸員課程に関すること
 - 学内試験およびレポートに関すること
 - 証明書等の発行に関すること

教務部よりお知らせ

- 履修相談開催
日時 4月6日(木) 14：00～16：00
場所 121・122教室 成績表を持参してください
- Web履修登録説明会
日時 4月7日(金)～9日(日) 10：00～12：00, 13：00～16：00
場所 新入生721 在校生722教室 学生証を持参してください

入試広報部：入学試験に関する業務および学生募集に関する広報活動を行う機関

- 入試広報課：2号館1階 03-3482-9100
- 入学試験の実施に関すること――学部、大学院、専攻科、編入学、学士入学、推薦入学、AO入試等
 - 学生募集に関すること――大学案内、入試要項の作成・頒布
 - 入試広報活動に関すること――オープンキャンパスの企画・実施、各種進学相談会の企画・実施

「Campus Square for Web (キャンパススクエアフォーウェブ)」について

Campus Square for Web は、学生生活に必要な情報等をインターネットから閲覧・登録できるシステムです。

●アクセスURL (アドレス)

<https://cs.seijo.ac.jp/>

大学ホームページ (キャンパスガイド-在学生向け情報-) 内
「Campus Square for Web」リンクからもアクセスできます。

●Campus Square for Web で利用できる情報

学籍情報：大学に登録されているあなたの情報です。
履修状況：履修登録完了後から
個人成績情報
休講・補講情報：履修登録完了後から
就職関連情報
お知らせ掲示：インターネット版お知らせ掲示です。

※緊急の場合など、全てのお知らせが掲載されるとは限りません。

必ず学内掲示板を確認するようにしてください。

※詳しくは「パンフレット成城」24～25頁参照

日本学生支援機構の奨学金について

日本学生支援機構は、総合的に学生支援を実施するために設立された国の機関です。旧「日本育英会」の事業を承継し、大学で選考・推薦手続きを経て、奨学金を採用者に貸与する機関で、代表的な奨学金です。希望者は必ず説明会に出席してください。

●奨学金出願者説明会：説明会に出席しないと出願できません。

対象：学部生	日時：4月13日(木) 18時～ 場所：特03教室
対象：大学院	日時：4月14日(金) 18時～ 場所：特21教室

●予約進学者説明会：説明会に出席しないと貸与が受けられません。

対象：予約進学者…高等学校在学時に、奨学生採用候補者に決定している者。	日時：4月12日(水) 18時～ 場所：特21教室
-------------------------------------	------------------------------

※詳しくは「パンフレット成城」32～33頁参照 【学生部】

第27回 学長賞懸賞論文の募集について

学長賞懸賞論文は、本学学生の勉学意欲を振起すことを目的として、1980年度から始められました。審査の結果、優秀作品と認められたものには、最優秀賞、優秀賞、奨励賞をそれぞれ贈り、入賞者には賞状および副賞(最優秀賞15万円、優秀賞10万円、奨励賞5万円)が授与されます。

本年度の応募要領(論題、応募規定、論文提出期間等)については、5月下旬にあらためて掲示板およびホームページにて発表します。 【教務部】

平成18年度学事・行事暦

4月	4日(火)～ 4日(火)～10日(月)	履修の手引・シラバス等の配付 新入生オリエンテーション・ガイダンス、フレッシュマン・キャンブ(文)
	5日(水) 5日(水)	入学式 Web履修登録・Web予備申請開始 9時
	9日(日) 11日(火)	Web予備申請登録締切 17時 前期授業開始、Web予備申請結果発表 8時半
	14日(金)～21日(金) 17日(月)	定期健康診断 文・体連オリエンテーション 場所：五十周年記念講堂
	24日(月)	Web履修登録締切(法・サイノ・専攻科・大学院) 18時半
	25日(火) 26日(水)	Web履修登録締切(経済) 18時半 Web履修登録締切(文芸) 18時半
5月	5日(金)	創立記念日
6月	18日(日)	オープンキャンパス
7月	15日(土) 18日(月)～27日(水)	前期授業終了 学期末定期試験
	28日(金) 29日(土) 30日(日)	夏季休暇開始 オープンキャンパス オープンキャンパス
9月	25日(月)	後期授業開始

サービス施設の前期の予定日

図書館

月～金曜日 9:00～20:00
土曜日 9:00～16:00

※開講期間の開館時間

MNCオープン利用ルーム：8号館1階

月～金曜日 9:00～20:00
土曜日 9:00～16:00

トレーニングセンター(4/11～7/15)

月～金曜日 10:00～20:00
土曜日 10:00～17:30

※4/9までと、7/16以後は、月～土の開館時

間は10:00～17:30

※いずれも受付は終了時間の30分前まで

※臨時の開館日・閉室日等は、掲示やホームページでお知らせします。

成城大学ホームページ

URL <http://www.seijo.ac.jp>



主な関係部署の電話番号

大学・短期大学部関係係	教務部	教務課	03-3482-9045	
		学務課	03-3482-9054	
		学生部	学生課	03-3482-9081
			学生相談室	03-3482-9086
			大学保健室	03-3482-9085
		トレーニングセンター	03-3482-5790	
	就職部	03-3482-9063		
	大学図書館	03-3482-3555		
	MNC	03-3482-2165		
	国際交流室	03-3482-9020		
	総務課	03-3482-2101		
	管理課	03-3482-9239		
	入試広報部	03-3482-9100		
	会計課	03-3482-1302		
	管財課	03-3482-1409		
学園正門案内所	03-3482-1452			
伊勢原総合グラウンド	0463-93-0771			

平成18年度主な人事異動

新任教員

文芸学部	小島 孝之 教授
社会イノベーション学部	矢澤修次郎 教授

平成18年度研修教員

経済学部	海保 英孝 教授	(後期)
文芸学部	石村 広 助教授	(全期)
	奥田 秀宇 教授	(全期)
	高木 昌史 教授	(全期)
	津上 英輔 教授	(前期)
	森田 孟 教授	(後期)

～長期研修者のみ掲載～

編集後記

●明るい春の日射しの訪れとともに、キャンパスはフレッシュマンの新しい息吹の溢れる季節となった。入学おめでとう。新入生の学生としての新しい門出を祝って一つの言葉を贈っておこう。「陰徳あれば必ず陽報あり」という中国の古典、『淮南子(えなんじ)』の言葉である。「陰徳」とは、人知れることもなくひっそりとする善い行い。人知れぬ善行は一見無駄のようだが、いつかきっと大きく報われる、という意味だ。

一般には、「勤善懲悪」、善行を勧めて悪事を戒める。しかし、その「勤善」の「善」とは、はっきりと目に見えるかたちのものであることが多い。だが、人に言われてする善は本物ではない。人がうるさく言うから、人に讃められるから、あるいは後で得をするから……、人の目を意識した善行にはどこかに打算や不純な気持ちが交じってしまう。そうではない、人の知らないところである、真心からの善行こそが本当の善行だ、と言うのだ。何も期待しない、見返りも求めない、ただそうしたいから、そうしなければならぬからする善行が「陰徳」というものだ。

そんなことして何になる？ 単なる自己満足ではないのか？ 何につけ損が得かを計算に入れ、行動に即効性を求める現代人は、あるいはそう反問するかも知れない。しかし、そうではないのだ。人を意識してする善行にはどこか嫌らしさが付き纏う。だから、本当の感謝を得ることも無いのだ。もとより、人に知られない「陰徳」は人に感謝されることも無い。しかし、どこかにそれを喜んでくれる人がいるかも知れない。それが回り回って返って来ることもあるだろう。いや、それ以前に、やるべきこと、したいことをしたという満足感が君を幸せな気分してくれる。自己満足、いいではないか。自分が満ち足りた気分になれるなら、これ以上幸せなことは無い。己惚れなければいいのである。

その、君の幸せな気分が人をなごませる。人をほっとさせるのだ。「やあ、元気？」そこから新しい友達もできるだろう。それが「陽報」というものだ。だから、「陰徳」を積もう、と言うのだ。

しかし、残念ながら世の中は大競争時代である。人は競って打算に走る。けれども、他を出し抜き、人を踏みつけ、多くを貪って何になろう。競争に疲れ果て、さもなくば、人に妬まれ、怨まれるのが落ちではないか。

即戦力になる。だから地力を養っておこう。学問の世界、課外活動の世界……。大学では、君を「陽報」へと大きく導いてくれる世界が、君の精進を待っている。

(学生部長 上野英二)



～今号の表紙～

「新入生を歓迎する気持ちを表紙に表したい！」とたくさんの部活に声をかけた。2月の寒い日、新入生を待っているみんなの気持ちで、一瞬そこが「春」になった。

撮影：下村みさ(学生部)

学生生活 210号

発行日 平成18年4月5日
 編集・発行 成城大学・成城大学短期大学部 学生部
 〒157-8511 世田谷区成城6-1-20
 編集責任者 上野
 編集 中村・山本・下村
 印刷 株式会社 芳文社